

第3回 灯台村塾



7月27日、学びたいという強い気持ちをもった14人の若き塾生が、今年も文化会館に集まった。開村式の冒頭、石原市長は「大勢の子どもたちの活躍と成長を期待しています」と塾生を激励した。灯台村塾は、御前崎に住む子どもたちの個性の伸長と学習意欲の向上を図ることを目的として2年前にスタートした市の教育の目玉事業だ。

今年も、数楽村、快画村、理科実験村、英語村、朗読表現村、環境村の6つの村が、将来の夢に向かってステップアップしようと目を輝かせる御前崎の子どもたちを迎え入れた。

知識のみを詰め込むような学習では子どもたちも嫌になるが、自分の興味がある分野を学ぶなら楽しいに違いない。身近で役に立つことを楽しく学ぶ。教育の本質は、学ぶ喜びを子どもたちに植え付けることにあるのかもしれない。勉強も本来は、強要しなくても楽しくてやりたくなるものなのだろう。学ぶことの楽しさを大人たちが教えてあげ

▶ 理科実験村

中嶋光喜君
白羽小5年
風力発電設備について詳しく勉強できたので良かったです。



▶ 英語村

佐藤凧さん
第一小6年
外国人と普通に話すことができるようにこれからも頑張ります。



▶ 絵画村

加藤奏太君
御前崎小4年
絵が大好きです。先生の説明がわかりやすく、楽しくできました。



◀ 数楽村

長尾龍司君
第一小6年
教科書には載っていない数や図形の性質を教えてもらいました。



◀ 朗読表現村

佐野優花さん
第一小6年
将来は通訳かアナウンサーになりたいと思います。夢に近づきました。



◀ 環境村

樽林泰佑君
白羽小5年
普段捨てるものでおもちゃを作りました。再利用に興味を持ちました

